

▼6歳ころの写真(前列右5番目)。仲良しのお友達や大好きな先生との思い出がたくさん詰まった千田保育所(現鹿史保育所)の卒園式



藤田 知里さん



西野 純平さん



田中 大樹さん

イラストコーナー

イラストはたてに描いてね

このコーナーでは、みなさんからの便りをお待ちしています。どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》kanri@town.mifune.lg.jp

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

みなさんからの便りをご紹介します。

**空** からのおくりもの、内田禪くんありがとう。1月13日うれしい日でした。あなたの写真を見て、またあの日の雪を思い出しました。すくすくと育ってください。  
(豊秋・Sさん)

久しぶりの雪で子どもたちはもちろん、大人もなんだか嬉しくなりましたよね。広報を見てまた思い出していただけたよかったですね。冬ならではのうれしいおくりものになったよかったです。  
(広報担当)

**梅** の花もほころび、ずいぶん春らしさを増してきていますね。気がつくともうすぐ3月。押入れの中にもしまっておいたケース入りのお雛様を慌てて飾りました。3月3日過ぎれば、又すぐにしまわないといけないですよ。最近、大人になってもお嫁にいかないと悩んでいる6年生の娘。まあ、慌てしまわなくても良いかな!?  
(滝尾・Sさん)

ほんとに早いもので3月を迎えています。春もそこまでやってきていますね。3月といえば、ひな祭り。町内でもひな祭りスタンプリーなども開催されており、華やかな雰囲気になっていきます。Sさんのお宅でもお雛様が飾られたようですね。雛人形をいつまでも飾っておくとお嫁に行き遅れる、といいますが、なかなか片付けられないのが現状ですよ。季節に応じて出したり、片付けたりするのも楽しみの一つではないでしょうか?



(広報担当)

先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもころの思い出を話してもらうコーナーです。

若葉保育園 江原 澄恵 園長  
(旧鹿史町出身・59歳)



小さいころからの夢

いつのころからか、はつきり記憶していないのですが、「大きくなったら保育園の先生になる」ということが、小さいころからの夢でした。自宅から歩いて10分くらいの所に、町の保育園がありました。家は農家でしたので、送迎はもっぱら祖父の仕事。保育園が終わると、近くの知り合いの家で待っていてくれる祖父の所へ真っ先に走って行ったことを覚えています。

思い出はまだまだあります。冬場のお弁当温めの箱が火事になりそうになったこと、大きな柿の木のある園庭で遊んだブランコ、おひなさまの折り紙が出来ずに泣き出して先生を困らせたこと、忙しかった母の代わりに、いつも優しく見守っていた保育園の高森先生、東先生の顔も覚えています。懐かしい日々が蘇ります。

保育士の仕事に就いて40年、子どもたちの笑顔に囲まれて過ごせた事に感謝しています。

文芸

ひとひねり

短歌

三人娘の持ち寄るお節それぞれの家風の定着最早頼もし  
六十二年の星霜を置き子の許へと去りゆく友よ織月朱し  
雪の花くずれゆく様おしみつ春の足音さぐりおるなり  
創世期より今に続きて昇る陽の久遠の波長全身に浴ぶ  
紅白の歌に疲れて外に出れば今年最後の十六夜の月  
産土の初祭りとてもみやしろに若き宮司の太鼓ひびけり  
カーブミラーに映る己れの姿をば鱗はつつくり返しつつ  
正宗タツ子  
平野 文子  
藤本 京子  
古閑喜美子

俳句

過疎進む四軒となり飾焚く  
手を淨め涅槃の箱に挿しけり  
裏山に猪の床あり涅槃寺  
紅梅やピアノの音の弾みをり  
坊守の声懐かしき涅槃寺  
涅槃園に影おく光なかりけり  
とんとんと磴弾ませて春来る  
御船春菊句会 大坪路子選

肥後狂句

天狗会

心機一転 目の色変えて頑張らず  
沢庵漬け お数のしめは譲られん  
切り詰めて やつと予算に納まった  
気になる いつものバスに乗つたらん  
千エンジ 今が買い時エコ新車  
切り詰めて 民に安心させてくれ  
腹すえて リストラなどに負けられん  
くつろいで 実家じゃすつかり娘です  
負け惜しみ マグレで勝って喜ばす  
我慢せえ 姉のおさがりよく似合う

一般投稿

白銀の連山を引き寄せ我が庭と重ねて眺む日だまりの縁  
ウオーキングめざすは八勢のめがね橋子供のころを思い浮かべて  
朝の霜踏みしめ行くや吾子の背に風に吹かれて紅葉ひとひら  
新政府よきことだけのマニフェスト絵にかく餅とならぬ政治を  
水前寺幾年振りかなつかしむ能の舞台へ想いをはせる  
母病みて看病疲れを言う妻に明日は我が身と説す枕辺  
はじめての観光地 掲示板見ても猫に小判  
川口 勝行  
川部 寅男  
松原 敏雄  
餅崎 信子  
其川喜代子  
北川内宗郎  
内村 孝子